

アドレス <http://www.kioicho-rc.jp>

東京紀尾井町ロータリークラブ

KIOICHO WEEKLY Vol.29-5 No.1269 2020.8.6

国際ロータリー会長 HOLGER KNAACK
ホルガー クナーク

Rotary Opens Opportunities

テーマ ロータリーは機会の扉を開く

*例会日 木曜日 12:30

*事務所 102-0083 東京都千代田区麹町3-5

*例会場 ホテル ニュー オータニ

得水ビル2階202号

*創立 1992年9月17日(平成4年)

電話 東京03(3265)8597番

*会長 大竹章裕 幹事 坂田生子

FAX 東京03(3262)5279番

*会報雑誌委員会 委員長/森田建二 副委員長/佐藤香織・吉岡幸志 委員/今井千晶、熊川貴昭、馬淵知子、山口妙子

7月30日 第4回例会(通算1268回)

会場:麗の間

1. 出席者 会員 51名

ビジター 3名

出席率 70.83% (修正出席率7/9 84.72%)

司会 大島 幹会員

2. 開会の辞・点鐘 大竹章裕会長

3. ビジター紹介 石川隼一会員

4. 7月誕生祝品贈呈

新村敏明君(3日)、井上行央君(6日)、

大西太一郎君(13日)、今井宗陽君(16日)、

森田建二君(16日)、宮地勝美君(19日)、

金井繁晴君(23日)、工藤裕幸君(28日)、佐藤香織君(30日) 計9名

5. 会長挨拶 大竹章裕会長

異例の長梅雨が続き、日照不足ですが皆様お体崩していませんか?我が家乃庭のズッキーニはとうとう長雨で溶けてしまいました。湿気は身体を蝕みますので、十分ご注意下さい。

さて先々週の会長挨拶で、「奉仕を私たちの肌感覚でわかる言葉で表そう」と提案しました。

すると早速先週火曜日に開かれた奉仕 PJT 部門会議で黒田社会奉仕委員長から「奉仕活動の行き先や着地点をはっきりさせるため、皆が共有できる奉仕の定義付けをしたい」と提案があり、奉仕とは何だろうか?と熱く意見が交わされました。

「困った人の力になりたい」

「対象者が豊かになる」

「相手の側に立ちたい」

私は入会してからこういう根っこの論議をしたことなどはじめてです。とてもうれしく思います。その日に結論が出ませんでしたので、ずっと考えておりましたら昨夜その答えに巡り合いました。

ロータリーの友七月号17ページ投稿者の欄に答えとなる言葉が出ていました。奉仕の原語 service の真の意味は「人を思いやり、人のためになることをする」これが唯一の意味だとのこと。です。



7月お誕生日の皆様

8/6 第5回例会

麗の間

8/13、8/20 休会

8/27 例会予告

クラブフォーラム「会員増強～目標100名」

「イニシエーションスピーチ」

道端慶二郎会員増強委員長

中瀬賀暁・吉野次郎・林 裕人会員

どうでしょうか？私は奉仕の意味としてこのことばがとてもしっくりきます。よろしければ奉仕プロジェクトの委員会の皆様、皆さんの共有のことばとして、「人を思いやり、人のためになることをする」を中心に据えませんか？

今日は親睦というクラブ奉仕を代表する委員会の挨拶があります。「人を思いやり、人のためになることをする」この言葉なら、クラブ奉仕という言葉の意味も自ずから解けるように思います。

以上で会長挨拶を終わります。

6. 幹事報告 坂田生子幹事

- ①週報、ガバナー月信8月号、会員名簿6名分、新会員・林 裕人、平島有希（アドレス訂正）、金丸精孝（アドレス訂正）、金田康男（経歴変更）、中瀬賀暁（アドレス訂正）、吉野次郎（住所変更）配布致しました。
- ②例会終了後、臨時理事会を開催致します。役員・理事の方はご出席願います。
- ③コロナ感染防止対策につきまして、感染者が非常に多くなってきております。東京紀尾井町RCでも皆様に安心してご出席いただけるよう、防止対策と致しまして、受付の台に距離をとるよう机（荷物台）を配置致しました。又、本来ですと本日は軽食の日ですが、当面の間、お食事は蓋つきのお弁当とさせて頂きます。そして、今、ホテルの方にもお願いしておりますが、演台にアクリル板を置くよう手配しております。以上、暫くの間、宜しくお願い致します。

7. 委員会報告 なし

8. ニコニコボックス報告 深尾一郎会員

9. 卓話 「就任挨拶」

・親睦活動委員会 浅見 亨委員長

本年度、親睦委員長を務めます浅見亨です。まだ三年目の若輩者ではございますが、御指名いただきまして誠にありがとうございます。

コロナウイルスの真っ只中大変難しい時期に担当させて頂く事にやりがいを感じております。

精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

実はお受けしてから、何人かの方からご心配の声を頂きました。情けない話ですが、話を聞けば聞くほどとんでもない役職を受けてしまったと後悔の日々、

しかしその不安な心が吹き飛び、皆さんの為にお役に立とうと決意する出来事が共に活動するメンバーを知った時でした。先ずはご紹介させて下さい。

部門アドバイザーに金田さん、副委員長に今井宗陽さん、佐伯さん、委員には小林康和さん、宗田さん、松島さん、中村俊輔さん、中村ひろみさん、久保田さん、小泉さん、熊川さん、石川隼一さん、林さんです。非常に頼もしい布陣です。

メンバーの人選に関して大竹会長、坂田幹事には御尽力頂きました事をこの場を借りまして、感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて活動方針ですが、先ずは第一弾8/28のピアガーデンを皮切りに 9/18、炉辺会、10/22、夜間例会 11/22、炉辺会、12/17、クリスマス家族会、1/22、炉辺会、2/23、スパゲティーを食べる会 3/25、観桜会(屋形船)、5/15、16、京都旅行(鴨川をどり)を予定しております。

そして6/17は最終夜間例会でフィナーレを飾りたいと思います。

夜間例会、クリスマス会などは全委員で取り組み、炉辺会は分担制にしてお店の段取りから当日の司会、運営をしていきます。まさにワンチームで活動していきます。

そして何より多くの方々が参加し親睦を深めて頂くことが我々の励みになります。

何卒応援宜しくお願い致します。

しかしまだまだコロナウイルスの感染者が減らない状況ですので、場合によっては中止若しくは内容を大幅に変更するなど、皆様の安心安全を最優先とし活動して参りますのでご了承下さい。

結びに会員の皆様のご協力のもと幸せになる親睦の場を創っていきたく思います。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

・会報・雑誌・広報委員会 森田建二委員長

今年度の会報雑誌・広報委員長を仰せつかりました森田です。一年間どうぞよろしくお願いいたします。当委員会は委員長をサポート役としての副委員長に吉岡さん・佐藤さん、委員として馬淵さん・熊川さん・今井千晶さん・山口さん、合計6名の方にご協力をいただきながら運営してまいります。

先ずは毎週の例会内容を会員全員で共有できる会報（週報）の作成です。

週報作成の実務面は事務局にお任せしており、今期も鈴木さんをお願いしていくことに変わりありませ



ん。なお週報掲載用の写真撮影につきましては、委員全員でローテーションを組んで実施していきます。

週報により例会に欠席された会員も出席された会員と等しく例会の雰囲気を感じ取ってもらえたらと思います。

また当クラブでは例会にお越しいただいた、卓話者・ビジターの方の写真を撮影し、その場でプリントして記念写真としてお渡しています。このような『おもてなし』をしているクラブは実のところあまり無く、他クラブの方からも「とても良いことですね」と言われております。

こういった紀尾井町RCならではのホスピタリティの良さを、引き続き外部の方に感じていただくと共にアピールしていきたいと思っております。



次に「ロータリーの友」に対して会員の関心を喚起するという事です。皆様もご存じかと思いますが「ロータリーの友」購読はロータリアンの三大義務の一つです。

ここで偉そうなことを申し上げている私も、今まで「ロータリーの友」はさっと眺めて、あとはキャビネットに放り込んでそのまま1年経過といった状況でした。

このたびの会報雑誌・広報委員長就任を機に、またコロナ渦の影響もあり、改めて「ロータリーの友」を過去のものも含めて読み直しました。

既にお読みになっている方には当たり前かも知れませんが、ロータリーの在り方や活動内容等、様々なことが書かれていて大変勉強になりました。

今期も毎月1回（基本2週目例会にて）、「ロータリーの友」からのトピックスを紹介していきます。

それにより皆様の「ロータリーの友」に対する関心を高めて参りたいと思っております。

併せて現在60%程度の登録率となっている「MYロータリー」につきましても、引き続き会員登録の促進をしていきます。

次にフェイスブック（FB）についてですが、こちらは前々年度（大西年度）の時にスタートしました。当時の広報委員長の中島さんが立ち上げて下さったかと認識しています。

紀尾井町RCの活動内容を外部に発信するために、今まで例会・奉仕活動・同好会活動等を継続してアップし続けています。

今期もこのFBは活用していきたいと考えており、例会の写真撮影と同様、各委員がローテーションを組んで活動内容をアップしていきます。

先日（7/22）、国際ロータリー2580地区公共イメージ向上委員会の半場（ごじょう）委員長から、「SNS運用開始のお知らせ」との案内をいただきました。

趣旨としては「SNSを通じて外部への情報発信を積極的に行い、RCの認知度を高め、公共イメージの向上を図りたい」というものでした。

既に開設済みのFBに加えてツイッターとインスタグラムのアカウントを開設、向上委員会が運営していくので、各クラブから写真・動画付きで情報を送ってほしいとの内容でした。

こういったことから「外部への情報発信にSNS活用は今後も不可欠」と認識して、今後の情報発信を考えていかねばならないと感じました。

大竹会長からは広報委員会より積極的に外部へ紀尾井町RCの情報発信をしてほしいとの意向をいただいております。

ただ当クラブのFBも現状は広報委員会有志による活動に留まっている状況です。

また（活動計画には盛り込みませんでしたが）当クラブのホームページに関しても外部への情報発信に有効活用されているかを検証すべき時期なのかもしれません。

この分野に関して私は全くの門外漢なのですが、当クラブには専門知識をお持ちの方が数多くいらっしゃいます。皆様からのアドバイスをいただきながら、SNSに関してはその活用方法を考えていきたいと思っております。

改めましてどうぞよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

・ロータリー財団委員会 渡邊藍子委員長

今年度ロータリー財団委員長を務めさせて頂く事になりました渡邊でございます。

一緒に活動して下さる皆様は、副委員長に小島会員、武藤会員、委員の方は西岡会員、手島会員、川端会員、工藤会員、そして、部門アドバイザーの宮地会員でございます。

活動方針としましては、入会年度の浅い会員の方々もいらっしゃいますので、財団に関しての理解を深めて頂ける様に、財団の使命、活動内容、活動資金の有効な活用について、分かり易くお伝えしたいと思っております。



その原資となる財団への寄付を募っていきたいと思っています。

活動計画としましては、一つは、地区財団委員長吉田雅俊様に卓話を依頼し

ている所でございます。

次の活動計画としてどの様な事をやっていくかについては委員の皆様と相談しながら進めていきたいと思っております。寄付を集める事も重要ですが、その寄付を有効に活用して財団の使命を果たす事がとても重要です。

地区財団活動資金を有効に使うためには 1 地区補助金、2 グローバル補助金、3 ポリオプラスへの寄贈、4 ロータリー平和センターへの寄贈、5 恒久基金への寄贈、があります。

当地区の財団委員会では、1 の地区補助金、2 のグローバル補助金を使っての活動を推進しています。これはかなり難しいと聞いております。

活動の参考にしようと思ひまして、各年度の活動計画書、活動報告書、そして「ロータリーの友」を読ませて頂きました。「ロータリーの友」には長年取り組んできたポリオ根絶運動が掲載されています。他クラブの様々なイベント、チャリティー等が紹介されていますが、一般の方々にロータリーの活動を知って頂くいい機会だと思ひました。入会希望者が出てくれればなおいいと思ひます。

ロータリー財団の使命とは、「ロータリアンが(人々の)健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解、親善、平和を達成できる様にすること」とあります。これを肝に銘じて、そして、大竹会長の三つの年度ミッション「会員 100 名を目指す、全員参加の奉仕活動を作る、地区と仲良くなる」を忘れず、今年度の活動に励みたいと思ひています。

どうぞ皆様のご協力をお願い申し上げます。

・米山奨学委員会 岡垣栄治委員長

2020-2021 米山奨学委員会の委員長を申し付かりました岡垣と申します。委員には熊川会員と堀内会員の支えを借りて頑張っていきたいと思ひます。

私自身この制度があることはわかっており、前期までは2年連続の奨学生として伴物さんがおり、彼のコミュニケーション能力がたけていることもあり紀尾井町ロータリークラブに非常に溶け込んでおり、いるのが当たり前という状態が続いておりましたので私自身あまり米山の事を意識せずにやってきました。

この度、せっかくやるのならばその意義やどうして紀尾井町でこの活動を行うのかも含めて調べることもや知るといことから始めさせていただきます。

私含めここ3年以内の新会員には、知る良い機会とし、ベテラン会員の皆様には私の認識が間違っていたら後でこっそり修正して頂き、皆様と一緒にこの活動を理解して、広めたいと思ひます。

最初に、皆様、実はシンボルマークがあることは御存じでしたか？このマークの重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。

外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願う”心”を育てるといふ、事業創設の願いが込められています。

手は、そうした”心”を生み出すと同時に、米山記念奨学事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。そうしたマークの意味とともに、ロータリーと米山梅吉について知る事から始めたいと思ひます。

実業家の米山梅吉さんは日本最初の1920年に日本初ロータリークラブを創設された方です。

その後1946年に亡くなられた後、彼の功績を記念して発足したのが米山記念奨学会です。

1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業が、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、当時の文部省(現在の文部科学省)の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

ここでなぜロータリーで留学生支援なのかという疑問が起きます。

本来ロータリーは職業奉仕(会員の職業倫理を高めること)と、そこから広がる社会奉仕と国際親善を目的とするとあります。

もう一つ、ロータリーの理念があります、

ロータリーは人道的な奉仕を行い、すべての職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、世界においては、親善と平和の確立に寄与することを指向した(しこうした)、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に連携した団体であると思ひます。

この、世界の平和の確立に寄与することに対し当時の米山記念奨学会は「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、



平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」――。

米山奨学事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがあったようです。

ロータリー米山記念奨学会は勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。その目的は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することとしています。

私はこの活動は単なる支援ではなく、親日という言葉ではないですが、将来の有望な学生へ、親（しん）ローターという、広報的な意味も含んでいると感じました。

さてその奨学生には月に1回例会へ出席、奨学金の受け渡し、スピーチその他、親睦活動・奉仕活動への参加などがあります。

今回の奨学生は前回初めて例会に参加いただきました郭（カク）サイインさんです。

暖かく迎え入れるとともに、彼女への親（しん）ローターを作る機会の支援を当委員会では頑張りたいと思っております。

最後に本題に入りたいと思います。

2019-20年度の寄付金は約13億3,600万円でした。

新型コロナウイルスの影響により2月から寄付が徐々に減少し始め、最終的に前年度比5.3%減で金額として約7,500万円の減少となりました。

このクラブにはニコニコと米山への寄付という素晴らしい選択制度があります。

私たちは、ぜひこの米山への寄付を少しでも増やし、親ローター作りのお手伝いを行うことを頑張っていきたい一年としたいと思います。

・会計 井上行央会員

皆様、こんにちは。今年度会計を仰せつかりました井上です。1年間、宜しくお願い致します。

会計就任挨拶ということですが、正直何を話したらいいか迷いました。ありきたりな挨拶となってしまうと思うのですが、改めまして宜しくお願い致します。

慣例では前年度幹事の方が会計を担当するとお聞きしていましたので、若輩者である私が紀尾井町RCの会計を担当させて頂くことにつきましては、大変身が引き締まる思いです。諸先輩方のお力をお借りして頑張っていきたいと思えます。

紀尾井町RCの会計については、正直昨年度までは規模感や支出内容は漠然とこれくらいかと予想はしていたものの、予算や実績などは全くわかっていない状態でした。これを機に勉強させて頂きたいと思えます。

紀尾井町RCはマンション管理組合やPTAなどと同じく営利を目的としない人格のない社団等になるので、会費や皆様からのニコニコへの収入から活動費等の支出をし、残額を翌期へ繰越していき、一般会計・ニコニコ会計・基金会計の3会計に分けて管理されております。活動方針としましては、クラブ計画書にある通りですので、割愛させて頂きます。また、今年度におきましては、コロナウィルスや台風等の自然災害による特別な支出があると思われるので注視していきたいと思えます。

諸先輩方の功績により現在は会員数が75名を超え、大変健全な財政状態になり運営が非常に楽になっていると聞いておりますが、過去におきましては財政的に苦しい時代があったとも聞いております。これを数年かけて立て直し、現在の財政状態にまで築いてきた諸先輩方の多大な努力が現在に繋がっていると考えますと、感謝の念に堪えません。有難うございます。

このような非常に良い紀尾井町RCの流れを財政面からしっかりと支え、またさらに発展できるよう、会長・幹事・理事の方たちとしっかりと連携し、役割を果たしていきたいと思えます。

これももちまして短いですが、会計就任の挨拶とさせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。



10. 閉会の点鐘 大竹章裕会長

7/30お客様 須藤 仁様（東京麹町RC） 宇田川耀平様（今井千晶会員ご友人）
佐々木裕子様（道端会員ご友人）

【にこにこボックス】

本日の合計 161,000 円 (26 件) 累計 488,000 円 (131 件)

金丸 精孝君：子女誕生日。長男の配偶者の誕生日。

久保田優子君：委員長の明様宜しくお願いします。

大竹 章裕君：一昨日、前会長幹事慰労会開かれました。パスト会長幹事の皆様、有難うございました。

中村 俊輔君：太陽が出ないですね。

深尾 一郎君：ゴルフやりたい!!

黒田 善孝君：不要不急の判断基準を自分の好き嫌いで決めている僕はつくづく弱い人間だと感じています。

浅見 亨君：寸志。

林 裕人君：寸志。

平島 有希君：寸志。

三村智恵子君：相変わらずコロナは猛威をふるっています。コロナウィルスとの共生をはかっていかないといけません。

日高 正人君：寸志。

橋本 吉弘君：寸志。

井上 行央君：本日、会計就任のご挨拶をさせていただきます。1年間宜しくお願い致します。

石川ヒロ子君：寸志。

河合由里子君：寸志。

今井 千晶君：宇田川さん、ようこそ紀尾井町ロータリークラブへ♡

守重 知量君：寸志。

中瀬 賀暁君：寸志。

林 ひろみ君：みなさんの健康を祈念致しまして。

齊藤 学君：寸志。

西脇 修君：新委員長の皆さん、ご苦労様。

佐伯美穂英君：寸志。

飯塚 保人君：今日も楽しい一日にしましょう。

宗田 裕司君：寸志。

山口 妙子君：寸志。

渡邊 藍子君：寸志

【米山財団寄付】

小島 清治君：明日はゴルフです。コロナウィルス感染者が増加中です。多数の会食は注意したいと思っています。

坂田 生子君：長梅雨ですね。早く明けますように。

岡垣 栄治君：寸志。